

令和7年度

パピーナ南荻窪保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

活動 位置

対応する位置にシールを貼り、「同じ」「違う」「色」「場所」を理解する

環境をデザインする

●準備した物

プリント、シール

探究活動を実践する

●活動内容

プリントにいろいろな色のシールを貼る
位置を知り理解する

●子どもたちの様子

家の窓の形の違いを見つけ、四角や「ドキンちゃんのハート」など活発に教えてくれる姿があった。一つずつ目で追って同じ形を探し、貼る色を考えて丁寧に取り組んでいた。ロケットのどこにシールを貼るか問いかけると、「下じゃなくて横ではなくて上ではなくて外ではなくて」と、自分なりの言葉で説明しようとしていた。団子の真ん中を、上や下といった位置の言葉を用いて説明し、さらにその色から自分の好きな味を思い浮かべて楽しんでいた。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

手本の家の形と色をを見ながら同じようにシールを貼り付ける活動を行った。色の認識の理解が難しい子も中にはいたが、最後まで活動に取り組むことができていた。全体的に見本を見ながらシールを同じように貼ることができていた。

講師より

形や色を丁寧に見比べながら取り組む中で、場所を示す言葉や自分なりの表現を工夫する姿があり、言葉の力や表現する力の育ちを感じた。落ち着いて色と場所の対応を考え、楽しみながらイメージを味へと広げる姿も見られ、考えることを楽しむ時間となった。

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年8月8日
時間	30分
参加人数	10人



令和7年度

パピーナ南荻窪保育園

すくわくプログラム

テーマ： かず

活動 長さ比べ

「長い」「短い」を理解し、様々な形を作る体験をする

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年8月8日
時 間	30 分
参加人数	10 人

環境をデザインする

●準備した物

いろいろスティック

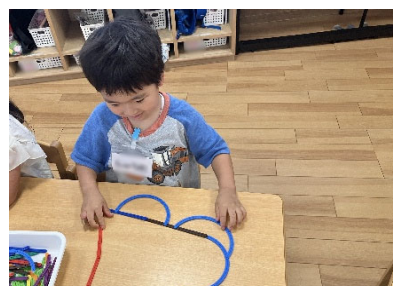
探究活動を実践する

●活動内容

長さ比べをする

長さの違うピースを自由につなぐ

●子どもたちの様子



色の違う2本をとって、長さを比べる中で「小さい」という発言もあったが、周りの言葉を聞いて「短い」を使うようになった。3本の比較では戸惑う姿もあったが、周りを見て、下をそろえて比べる子が増えていった。自由に形を作る場面では、つなぎ目を動かしてトラックから新幹線へと変化させたり、2本だけで「く」や「L」を作ったりする姿があった。ヘリコプターやトラックなどの乗り物や、カーブを使った雲やお月様など多様な物が見られた。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

スティックを数個取る際は、色を見て選んでいたが講師が長さを比べようと伝えたと自然と横に並べる児もいた。子どもによって、遊ぶ感覚が強い児はスティックを手放さず手で持って空中で比べて、長さが誤差の物は気が付かない姿があった。大人の言葉で気持ちを切り替え長さを比べることに注目しようとする児は、机の上に並べて比べていた。2回ほどスティックの長さ比べをした後は、自由に様々な長さ形を使って形作りを楽しんだ。出来上がりをイメージして作る児もいれば、黙々と繋げた後に何かの形を捉えて、保育者に知らせる姿があった。

講師より

長さの比較で、言葉の使い分けや比べ方に友達の影響を自然に受ける姿から、子ども同士の気づきの大きさを実感した。形作りにおいても、友達の作品を参考にしながら発展させる様子があり、気づきと工夫の積み重ねが多く見られた。今後も子ども同士の影響を大切にしつつ、個々の気づきにも寄り添っていきたい。

令和7年度

パピーナ南荻窪保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

テーマを設定する

形を組み合わせたたり分けたりしながら、新しい形を作り出す楽しさを味わう。図形や立体への関心を深める中で、試したり考えたりすることを楽しみ、安心できるやりとりの中で自分の工夫を表現していく力を育てていく。

活動 三角形の理解

三角の形、構成、変化を理解する

環境をデザインする

●準備した物

三角パズル

●活動内容

いろいろな形をつくる

パズルの組み合わせを考える

●子どもたちの様子

並べて数えることを思い出して8枚を数える姿があった。三角パズル2枚使って何ができるかの問いかけに、四角はすぐ作ったが、三角で三角を作るのには戸惑いも見られ、助けも受けつつ作る姿があった。四角と三角を組み合わせる場面では、時間をかけながら魚、家、女の子などへとイメージを広げていた。三角だけのパズルは初めてだったが、次第に慣れ、ひまわりやロボットなど8枚すべてを使った作品もできあがった。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

三角形のパズルを使い、いろんな形を作った。最初は4つの三角形から自分の好きな形を作った。柔軟な児は、いろんなものに見立てて「女の子」や「家」などを作っていた。発想するのが難しい児は、他児の作っている物を見て真似して作っていた。その後は、三角形を8つに増やして形をつくる。数が増えたこともあり、いろんな形を作って楽しんでた。ワークにあった見本の形を作ってみる。さっきまでスムーズに形を作っていた児も見本を見て作る事は難しく苦戦していた。すぐに完成していた児は、保育者がタイマーで計って何秒で出来るのかゲームをして楽しんだ。

講師より

三角だけのパズルに戸惑いながらも、次第に慣れて工夫を重ね、形やイメージを広げていく姿が見られ、表現の多様さ、発想の豊かさを感じた。子どもによって出来上がりまでの時間の差は大きいですが、試行錯誤しながら手を動かし続けることで、自分の力で最後まで成し遂げる経験となった。形の組み合わせの面白さをきっかけに図形への興味をさらに育てたい。

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年8月8日
時 間	45 分
参加人数	10 人

